

2016年11月1日

航空自衛隊奈良基地司令・空将補 荒木 哲哉 殿

日本共産党衆議院議員	こくた恵二
日本共産党参議院議員	倉林 明子
日本共産党京都府会議員団団長	前窪義由紀
日本共産党京都市会議員団団長	山中 渡
日本共産党宇治市会議員団団長	水谷 修
日本共産党久御山町会議員団団長	巽 悦子
日本共産党城陽市会議員団団長	語堂 辰文
日本共産党京田辺市会議員団団長	青木鋼次郎
日本共産党木津川市会議員団団長	酒井 弘一
日本共産党精華町議員団団長	坪井 久行

京都府南部、奈良県北部でのブルーインパルス「展示飛行」の中止を求める申し入れ

航空自衛隊奈良基地では、開設60周年記念行事として、11月6日にブルーインパルスによる「展示飛行」を予定し、前日の5日にも事前飛行を行うこととなっています。しかし、「展示飛行」が行われる奈良市周辺、及び通過ルートとなる京都府南部には住宅が密集しており、著名な社寺をはじめとする貴重な文化財も数多く存在しています。そうした地域での「展示飛行」については、これまでも爆音への苦情、事故への不安の声が多数寄せられており、党議員団として中止を求めてきたところです。

しかも、今回飛来する予定のブルーインパルスは、「展示飛行」中の墜落死亡事故を含め、たびたび重大な事故を引き起こしてきた経過があります。直近では2014年1月29日、松島基地から南東に約45kmの太平洋上で、1番機の機首部と2番機の左後方が接触し、同基地に緊急着陸する事故を起こしました。市街地上空での「展示飛行」は、極めて危険なものと言わなければなりません。航空自衛隊小牧基地周辺の、愛知県小牧市、春日井市、豊山町の2市1町が、ブルーインパルスの曲芸飛行に、住民とともに反対の運動を展開しているのも当然です。

よって、自衛隊におかれては、府民生活の安全・安心を確保するため、今回のブルーインパルスによる「展示飛行」及び「事前飛行」については中止することを強く求めるものです。